

Vol.35  
2019 SPRING

# TSUNAGU

[繋ぐ]

彩る Special Issue:

## 人の暮らしを明るく彩る 野田版画工房の「襖紙」

特別企画 対談：C・W・ニコル氏(作家) & ロギール・アウテンボーガルト氏(手漉き和紙作家)  
TSUNAGU 「森の学校と和紙づくりを通して、子どもたちに伝えたいこと」  
Special Talk

# “ぬくもり”を摺り出す 野田版画工房の「襖紙」

日本人は古くから壁紙や表具などのインテリアに和紙を取り入れ、

自然素材ならではの風合い、絵柄や紋様などの装飾を楽しんできました。

野田拓真さん、藍子さんの夫婦が営む野田版画工房は、

唐紙という伝統的な技法を応用し、独自のデザインと遊び心を加えることで

暮らしに彩りを添える襖や壁紙などを仕立てています。

エッジの効いた表現のなかに、どこかぬくもりを感じさせる作品の数々。

そのきめ細やかな手仕事のなかに、住空間を楽しむヒントがありました。

**彩る** ..... P01

“ぬくもり”を摺り出す  
野田版画工房の「襖紙」

**特別企画** ..... P06

TSUNAGU Special Talk  
「森の学校と紙づくりを通して、  
子どもたちに伝えたいこと。」

**深める** ..... P10

KPPの最新ニュースを  
キャッチアップ

**伝える** ..... P11

角界のトップから届いた  
礼節のある1通の礼状

**出会う** ..... P13

育児との両立を実現する  
女性社員の「感謝」の気持ち

**訪ねる** ..... P15

紙の魅力を体感できる  
「ペーパーイベント・カレンダー」

**作る** ..... 付録

幸運を呼び込む  
「カエルの貯金箱」



① 近隣にある知人宅に納品されたばかりの作品。若菜色の背景に鳥の図柄があしらわれている。② 工房に設置された真珠のような光沢を放つ襖。③ 篩を使って版木に絵の具を塗る野田さん。④ 襖や屏風のほか、アートパネルなども制作。和の空間にも映える。



野田版画工房の客間にある本襖。ゴールドとシルバーの大きくおらかな模様は、光の入る角度によって表情を変えていく。

## 伝統に新しい発想を加えることで、自分たちならではの世界観を追求していきたい。

野田版画工房（滋賀県東近江市）  
野田拓真さん・藍子さん



野田版画工房の襖紙が高く評価されるもうひとつの要因は、その絵柄とデザイン。作品コンセプトを2人で決めたのち、藍子さんが描き溜めておいたスケッチを元に、図案化を進めていきます。「ひとつは、普段目にする里山の自然をモチーフにしたパターン作品。もうひとつは、人間の有機的な動きを抽象化した身体シリーズです。

野田さんの型にとらわれない発想は、素材の紙選びにも。京唐紙にはよく越前の鳥の子紙が使われますが、野田さんはそれ以外にも、徳島県の阿波紙、滋賀県の成子紙なども使用しています。「絵の具の吸収性や水分の弾き加減、表面の紙肌や厚さが重要です。襖用としてつくられた和紙だけでなく、柔軟な視点を持って、いろいろな紙を試していきたいですね。」

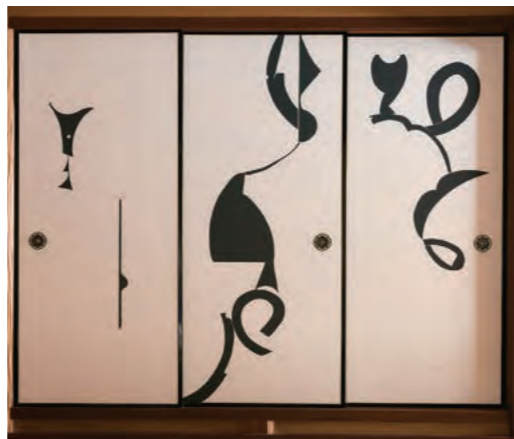
「僕のつくる紙は、見る方によっては邪道に映るかもしれませんが、そこに自分なりの解釈をくわえて崩していかないと、新しいものはできないんじゃないかと。唐紙としての美しさは大切にしつつ、自分たちがかっこいいと思えるもの、見る方の心に響く表現を追求していきたいですね。」

「僕がつくる紙は、見る方によっては邪道に映るかもしれませんが、そこに自分なりの解釈をくわえて崩していかないと、新しいものはできないんじゃないかと。唐紙としての美しさは大切にしつつ、自分たちがかっこいいと思えるもの、見る方の心に響く表現を追求していきたいですね。」

これはコンテンツポラリータンダンスからインスピレーションを受けたもので、その人間離れた動きや躍動感がヒントになっています（藍子さん）。唐紙に用いられる図柄の大半は、花鳥風月の伝統文様や画一的な幾何学模様。野田版画工房は古き良きものに、型にはまらない新しい感覚と時代のエッセンスを付加することで、オリジナル性を確立しています。

野田版画工房ならではの作品も多くあります。受注製作の場合は、ヒアリングした内容を元にデザインを進めますが、昔話や神話など、子育てのなかで見聞きしたものがヒントになることが増えていますね」と藍子さん。作品から優しさと安らぎを感じるのは、作家であると同時に小さな子を持つ親であり、成長を温かく見守る親の愛情が表れているに違いありません。

野田版画工房ならではの作品も多くあります。受注製作の場合は、ヒアリングした内容を元にデザインを進めますが、昔話や神話など、子育てのなかで見聞きしたものがヒントになることが増えていますね」と藍子さん。作品から優しさと安らぎを感じるのは、作家であると同時に小さな子を持つ親であり、成長を温かく見守る親の愛情が表れているに違いありません。



躍動する身体を表現したモダンなデザインは藍子さんのデザインによるもの。

野田さんは、嵯峨美術短期大学で銅版画を学んだのち、老舗の唐紙工房で5年間修行。「版画には、絵画のような直接的な表現にはない、洗練された魅力があります。卒業後、将来の方向性を見定めるタイミングで唐紙に出会い、デザインから版づくり、摺りまでのすべてが手仕事でつく

野田さんは、嵯峨美術短期大学で銅版画を学んだのち、老舗の唐紙工房で5年間修行。「版画には、絵画のような直接的な表現にはない、洗練された魅力があります。卒業後、将来の方向性を見定めるタイミングで唐紙に出会い、デザインから版づくり、摺りまでのすべてが手仕事でつく

野田版画工房が作り出すのは、襖や屏風、衝立や壁紙など、住人の暮らしに寄り添うように空間を彩る表具作品。唐紙の伝統的な技法に、大胆な色彩と斬新なデザインを加えることで、空間の印象を決めるほどの存在感を持つ、オリジナル作品を制作しています。

琵琶湖の東側に位置する滋賀県東近江市。豊かな自然に囲まれたのどかな山間の小さな集落に、野田版画工房があります。野田拓真さん、藍子さんのご夫妻が京都からこの土地に移り住んだのは、2011年春のこと。15年ほど空き家になっていた築30年の日本家屋を住居兼アトリエとして購入し、昔ながらの造りに小さな遊び心を取り入れながら、日々の暮らしを楽しんでいます。

手漉き和紙作家  
ロギール・  
アウトエンボーガルト氏  
Rogier Uitenboogaart



作家、(一財)C.W.ニコル・アフアンの森財団理事長  
C.W.ニコル氏  
C.W.Nicol

■ 対談

# 森の学校と和紙づくりを通して、 子どもたちに伝えたいこと。

■ レッスン・レポート

## 復興の森づくりと森の学校プロジェクト 和紙漉き体験授業



「BIWAKOビエンナーレ2016」に出品された屏風作品「Play」。田んぼに映る雲や山が揺らぐ情景を地文様として摺り、やさしい緑やオレンジのパステル色で子どもたちが元気に遊ぶ様子を表現する。滋賀県の山々を見立てた高さの異なる山型の四曲屏風が計5隻あり、ランダムに並べても高さや絵柄が合うように設計されている。



野田 拓真さん

版画造形作家。1978年、京都府生まれ。嵯峨美術短期大学卒業後、京都の老舗唐紙工房での修業を経て2011年に独立。滋賀県東近江市へ移住し、工房を構える。襖、屏風などの受注制作のほか、展覧会への出展を通して独自の作品を発表。版木の制作から紙の染色、仕立てまで、制作のほとんどを手がけ、拓真さんはおもに紙の染色、型押し、仕立てなどを担当。妻・藍子さんは図案家として版木デザイン、制作などを担当する。

野田版画工房

滋賀県東近江市和南町849  
TEL&FAX:050-5802-9585  
HP:nodahanga.com

プレBIWAKOビエンナーレ 2018

■日程:5/10(木)~6/15(金)予定  
■会場:マニラハウス(フィリピン・マニラ市)

BIWAKOビエンナーレ 2018 きざし~BEYOND

■日程:9/15(土)~11/11(日) ※火曜定休  
■会場:滋賀県近江八幡市旧市街11会場(予定)

問い合わせ

BIWAKO ビエンナーレ事務局  
TEL:0748-36-3766 HP:energyfield.org/biwakobiennale/

伝統の技術を用いながらも、暮らしに彩りを与える表現を追求し続ける野田さん。「襖は面積が大きいので部屋の主役にもなりえるもの。だからこそ、空間全体をデザインする感覚を大切にしています。ふと目にしたときに心に何か訴えかけてくるような、対話するような感覚にさせる作品をつくりたいですね」。

何かを語らずとも、そこに存在しているだけで心が和む。日常に溶け込む存在でありながら、なくてはならないものとしても暮らす。野田さんが心を込めて生み出す襖紙には、どんな空間にも調和する包容力と、生活にアートを取り入れることで心を豊かにするエッセンスが詰まっています。



⑤完成

襖紙をつくる場合は大きな和紙に版木を動かしながら、同様の作業を繰り返す。



④紙を摺る

具引きた和紙を版木の見当に合わせて乗せ、手で優しく撫でるように文様を写しとる。



③絵の具をのせる

野田さんが所有する版木は、20~30種類。版木に絵の具を塗るための道具・篩(ふるい)を使うことで、刷毛よりも効率よく、均一に絵の具をのせることができる。



②「具引き」で薄化粧を施す

刷毛を使って和紙を絵の具で染める。乾かしたのち、濡らした新聞紙で湿らせることで、顔料の吸収率を高める。



①顔料を調合する

雲母や胡粉、群青、黄土などの顔料を調合。乳鉢と乳棒を使って粉砕したうえで糊を混ぜ、定着力のある絵の具をつくる。

## ■ 対談 森の学校と和紙づくりを通して、 子どもたちに伝えたいこと。

東日本大震災から丸7年を迎えようとする2月27日、宮城県・東松島市立宮野森小学校の3年生を対象に、(一財)C. W. ニコル・アフアの森財団と国際紙パルプ商事(株)の共催による和紙漉き体験授業が実施されました。授業では、子どもたちが2016年3月、小学校裏の森に植樹した楮(こうぞ)と三椏(みつまた)を原料に、森にある落ち葉、地元・東松島市の海で採れた海藻などを漉き込んだ和紙を制作。和紙づくりの楽しさだけでなく、自然環境の大切さを学ぶ貴重な機会となりました。子どもたちの笑顔が輝いた授業終了後、アフアの森財団理事長であり、同小学校の建設と隣接した森の再生、子どもたちの心のケアなどを通して震災復興に尽力するC. W. ニコル氏と、授業で講師を務めたオランダ人の手漉き和紙作家、ロギール・アウテンボーガルト氏の対談が実現。それぞれの視点から森と紙の関係、子どもたちの未来に必要なことを伺いました。

——和紙漉き体験授業を終えた、率直な感想をお聞かせください。

**ロギール** この小学校での授業は初めてだったので私自身少し緊張もありましたが、みんなが積極的に取り組んでくれたのでうまくいきました。私の地元では恥ずかしがる子もいるので、打ち解けるまでにもう少し時間がかかりましたね。

**ニコル** 僕たちアフアのスタッフは、約6年前からこの地域の子どもたちと接してきたからね。2年前にも森の中で和紙漉きのワークショップを開いたけど、僕はどちらもすごく感動しました。

——授業の終わりには、「生徒から「またやりたい」という声が上がっていました。ロギール 子どもたちの反応が良かったのは、木造校舎で、すぐそばに森があるという

——繊維の叩き方によっても、和紙の仕上がりが変わってくる」と話していました。ロギール 手漉き和紙づくりには、少なくとも30のステップがありますが、その一つひとつが次のステップに影響する。これは和紙づくりに限った話ではありません。山での暮らしでも、薪の準備がうまくいかなければ、その冬は寒い思いをしなければなりません。今日の子どもたちにはまだ難しいけど、ものづくりに限らず、今自分がしていることが10年後、20年後に影響すること、一つひとつのことをしっかりやることの大切さを、体験を通して学んでほしいですね。

**ニコル** 繊維を叩きほぐす作業のとき、ロギールさんは子どもたちに「優しく叩く」ように言っていたけど、男の子たちは力加減が難しかったようだね(笑)。

**ロギール** もう少し上の子どもたちには、「愛情を込めて叩く」ように言うけど、3年生にどう伝えればいいのか少し悩みましたね(笑)。

**ニコル** 東日本大震災で被災し、家や学校が倒壊し、自分の愛する街が瓦礫になってしまった人たちの気持ちを考え、日本にいる誰もが心を痛めました。私たちに何ができるのかと話し合ったときに、私たちの森で被災した方々の心のケアをしよう。子どもたちを「アフアの森」に招待しよう。東北の各地に呼びかけましたが、そこで手を挙げてくれたのが東松島市でした。3日間のプログラムでしたが、森で思う存分遊ぶことで子どもたちに無邪気な笑顔が戻りました。その後、新たな小学校の建設と

う素晴らしい環境だったことも大きいと思います。言葉ではうまく表現できないけど、心地よいから、見たこと聞いたことがスツと心に入ってくるような感覚ですね。

**ニコル** 僕も森のなかにある木造の家で暮らしているから、この学校にいつ来ても違和感なくリラックスできる。仕切りがなく、廊下とつながっている教室とか木組みの体育館、森が見渡せる大きな窓など、開放的な空間だからこそ、心が通じ合えるのが早いのもかもしれません。

**ロギール** それに、完成した作品を見ると、同じ空間で、同じような自然の材料で和紙をつくったのに、まったく違ったものができ上がる。また、ほかの友だちと作品を見せ合うことで、それぞれに個性があることを実際に見て感じることも大事なことです。

### 東松島市立宮野森小学校 (宮城県東松島市野蒜ヶ丘2-1-1)



東日本大震災で被災した東松島市立野蒜(のびる)小学校と宮戸小学校が統合し2016年4月に開校。2017年1月に高台の野蒜ヶ丘に5,000本以上の無垢材が使用され、木組みで形づくられた体育館や図書室など、木の香りに包まれた開放的な学び舎が完成。小学校の監修を務めた(一財)C.W.ニコル・アフアの森財団が隣接する里山の整備を行い、里山も学びの場として活用されている。校歌は、歌手の加藤登紀子さん作詞・作曲によるもの。

隣接する森の再生の協力依頼を受け、私たちのスタッフが子どもたちと一緒に森の手入れを行い、森を使った授業のお手伝いをしています。

——木の香りがする、木造校舎の美しい小学校が2017年に完成しました。

**ニコル** 小学校建設に協力するにあたり、市の職員の方に「木造じゃないと手伝えな」と伝えました。どうして木造にこだわるといって、鉄筋コンクリートと比べてアレルギーが少なく、病気になるにくい。安全でぬくもりを感じられる利点もある。それに木造であれば手入れができるので、長持ちするんです。建設にあたって耐震性を心配する意見もあったけど、僕は彼らに「既存する世界最古の木造建築はどこにありますか？」と訊ねました。答えはもちろん



手漉き和紙作家、土佐の匠、高知工科大学客員教授  
**ロギール・アウテンボーガルト Rogier Uitenboogaart**

1955年、オランダ・ハーグ市生まれ。アムステルダム・グラフィックスクール卒業後、製本の仕事をしていたある日、偶然手にした1枚の和紙の素材感に感銘を受け、1980年に来日。日本各地の和紙産地を訪ね歩いたのち高知県いの町に生活の拠点をかまえ、手漉き和紙の修行に励む。1992年に同県穂原町に移住し、紙漉き工房を開設。2006年に宿泊施設も兼ね備えた紙漉き体験民宿「かみこや」をオープンし、創作活動と並行して和紙の魅力を伝え続ける。2005年に「森の名手・名人100人」、2007年に土佐の「匠」の認定を受ける。和紙の原料の自家栽培からはじめる伝統的な土佐手漉き和紙と、ヨーロッパ伝統のコットンペーパーの原料の割合や漉き方を変えることで、表情豊かな和紙作品を創作し続ける。紙漉き体験民宿「かみこや」: kamikoya-washi.com/




作家、(一財)C.W.ニコル・アフアの森財団 理事長  
**C. W. ニコル C.W.Nicoll**

1940年、英国ウェールズ生まれ。17歳でカナダに渡り、カナダ水産調査局の技官として北極地域の海洋哺乳類の調査研究を担当。以後、カナダ政府職員として計12回の北極調査探検を行う。その後、エチオピア・シミアン山岳国立公園の公園長など世界各地で環境保護活動を行ったのち、1980年から長野県黒姫に在住。1984年に荒れ果てた里山を購入し、「アフアの森」と名づけて森の再生活動に取り組む。1995年、日本国籍を取得。執筆活動とともに、講演やメディアを通じて環境問題への提言を続ける。2005年、英国エリザベス女王陛下より名誉大英勳章(MBE)を授かる。おもな著書に「勇魚(いさな)」「風を見た少年」「盟約」「誇り高き日本人でいたい」などがある。  
(一財)C. W. ニコル・アフアの森財団: www.afan.or.jp

## ▶ 当社が出資する 「松阪木質バイオマス発電所」が稼働開始

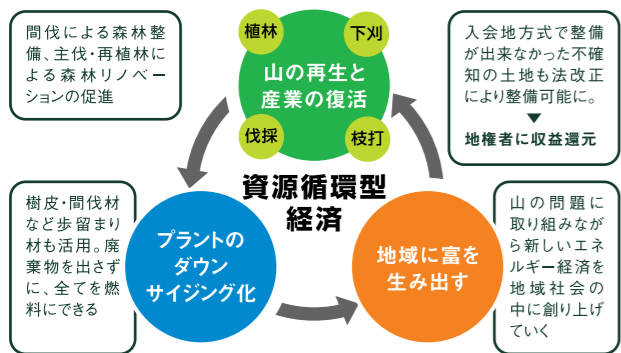
当社が2016年9月より出資しているバイオマス発電事業会社「バイオマスパワーテクノロジーズ」は、三重県松阪市にて「バイオマスパワーテクノロジーズ松阪木質バイオマス発電所」を設立し、2018年1月1日より商業稼働を開始しました。

同発電所は、三重県を中心に発生する未利用森林資源をバイオマス燃料として有効活用し、電力の地産地消に寄与する設備です。

年間14,000メガワット時（一般家庭4,000世帯相当の電力）の発電計画のところ、1月度・2月度の発電量実績として、ともに計画対比110%超で操業しており、順調なスタートを切っています。

当社は昨年8月より、国内未利用材を木質バイオマス発電燃料として販売を開始しています。今後も紙・板紙の販売を行う一方、森林資源の有効利用を推進するサーマルリサイクル事業の拡大と、古紙を再資源化するマテリアルリサイクル事業を両輪として、「総合循環型企業」をめざしてまいります。

### ■バイオマスパワーテクノロジー事業コンセプト



## ▶ 「プリンタブルセンサーコード技術研究組合」を設立

当社は、2018年2月26日、株式会社IP Bridge、株式会社C-INK、株式会社PMCODEの3社と共同で、「プリンタブルセンサーコード技術研究組合」を設立しました。

近年、物流過程での品質管理が求められる製品が増加しており、温度管理にも潜在的需要が高まっています。そこでインク技術、印刷技術、ソフトウェアを統合し、ラベル・パッケージ等に印刷可能な感温センサー（プリンタブルセンサーコード）の開発を目的に、技術研究組合を設立しました。各組合員は事業化に向けて共同研究を行ったうえでその成果を共同で管理し、相互で活用していきます。

### 設立時組合員企業

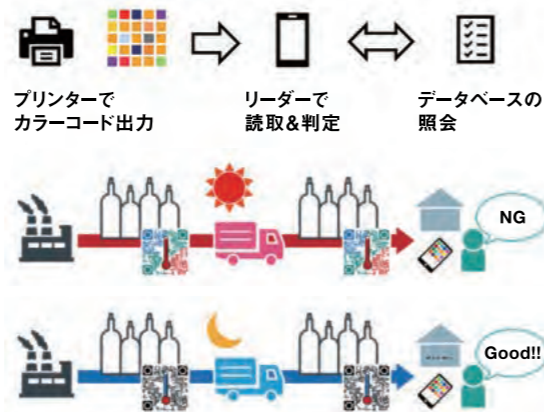
- ・株式会社IP Bridge(東京都千代田区)
- ・国際紙パルプ商事株式会社(東京都中央区)
- ・株式会社C-INK(岡山県総社市)
- ・株式会社PMCODE(三重県桑名市)

■本件に関するお問い合わせ先

新事業営業本部 事業開発部 事業創造推進室  
TEL:03-3542-9080 FAX:03-3546-2077

### ■プリンタブルセンサーコードのしくみ

温度によって色が変わるインクを用いて普及型プリンターでカラーコードをラベルや商品パッケージに印刷。それをリーダーでスキャンしデータベースと照合することで温度管理センサーとして機能させます。これにより、商品が置かれた温度環境に関する情報を取得することができます。



## ■ レッスン・レポート 復興の森づくりと 森の学校プロジェクト 和紙漉き体験授業

ロギール氏から、身近にある紙の種類とその原料が木材であること、和紙の魅力について説明を受けたあと、実際の和紙づくりに挑戦。植物の繊維を叩きほぐす叩解（こうかい）、水に解かれた繊維をシート状にする簀桁（すきげた）を使った紙漉き、落ち葉、海藻などの漉き込みなどを体験した。



日本の奈良です。それから地元の方々の心の距離が近くなり、今では僕のもう一つの実家のように感じているし、戻ってくるのが嬉しくてたまらない気持ちになるんです。

——ロギールさんが初めて和紙に触れたのはオランダですか？

ロギール 製本の見習いをしていて、作業場にあった和紙を見たのが最初でした。灯りに透かしてみると、薄い紙のなかに繊維が見えることに驚いたし、その奥深さに一瞬で引き込まれました。

ニコル 私はその昔、蝶の羽が漉き込まれたきれいな和紙をもらったことがあったな。今回のように、オランダの子どもにも和紙づくりを教えたことは？

ロギール 大人が対象のワークショップはありましたが、残念ながら子どもには教えたことがありません。

ニコル いつか実現してほしいですね。僕は1940年生まれですが、当時すでに紙

が当たり前にあったので、紙について深く考える機会がありませんでした。紙は平たいものだけど、使い次第でいろいろなカタチに変化させることができる。僕自身、子どもの頃に「紙には宇宙があるんだ」ということを知るきっかけがあれば良かったなと、今回の授業を見て感じました。

ロギール ありがとうございます。17世紀ごろオランダは世界トップクラスの製紙生産国でした。それなのに今のオランダ人は、伝統的なコットンペーパーのつくり方を誰も知らない。一方の日本では、ずっと和紙づくりを続けてきました。今後も和紙づくりを通して、オランダの子どもたちが紙の見方を変えるような、メッセージを発信していきたいですね。

ニコル すごく喜ぶと思いますよ。私は17オのときに初めて北極に行き、それ以来イヌイットの人々と心をつなぐことができました。イヌイットアートの版画で使用する紙のほとんどが和紙でした。昨日の授業を見ていて、北極にも北極柳などの植物があるから、ツンドラの植物で紙はつくれないのかなと思っていました。彼らには、石炭石にプリントする文化がある。それに地元の植物を使った紙をプラスすれば、より価値が高まるんじゃないかと。

ロギール 大切なのは、その土地の環境を深く知ることだと思えます。和紙づくりを学ぶのに、ハウスのなかで栽培した和紙原料を使って教えることもできるけど、それだと意味がない。自分たちが住む環境で育てた原料を使って和紙づくりを学ぶなかで、その土地の特徴や課題を知るきっかけになればいいなと思っています。

——日本人は古くから住空間に「紙」を取り入れて暮らしてきました。しかし近年では和室が減少の一途を辿るなど、紙文化の衰退が懸念されています。

ロギール 昔のように手漉き和紙を使う時代に戻ることはないと思いますが、私は「量よりも質」に重点を置いています。多くの人が使うようになればうれしいけど、子どもたちが心を込めてつくった一枚の和紙にも同じ価値があると思います。「量」について言えば、世界にはまだ紙を使ったことのない人、必要としている人もたくさんいます。ただ、材料の確保はサステイナブル（持続可能）な方向に向かっているから、企業はその点を進めて欲しいです。

ニコル 初めて僕が日本に来たとき、障子と畳の張り替えを見て感動したことをよく覚えています。56年前のことですが、当時の日本にはリネーイング（再生）とサステイナブルの両方がありました。未来に向けて、人類は持続可能なライフスタイルに戻らなければならないと思っています。



# 「手紙」は語る

植村 鞆音

人間は表現する動物だというが、手紙は人間の表現のなかでもっとも深く高貴なものだと思う。手紙は手書きがいい。眼光紙背に徹すれば、書き手の人となりが見えてくる。

## 第十三回 時津風勝男

何十年ぶりかで日本人の横綱が誕生したり、暴行事件で横綱が辞めたり、このころ大相撲は話題にこと欠かない。

四十年あまりテレビの仕事をしてきたが、角界とのつながりだけは不思議なほどなかった。ただ、平成六年から八年にかけて二年少々スポーツ局を担当したことがあつて、その折にわずかばかり接点があった。

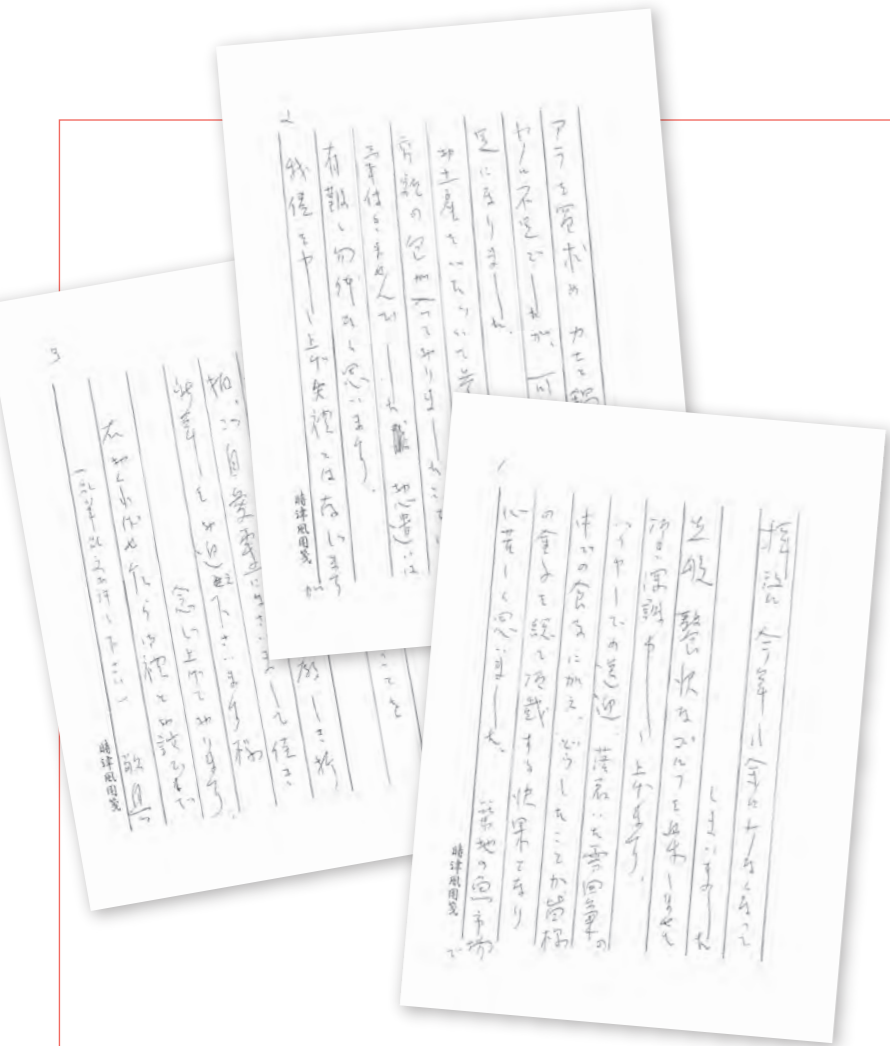
多分それは平成六年の暮れのことだったと思う。相撲協会の役員とゴルフをするようになったのである。当時、大相撲は視聴率の宝庫だった。ご存知のとおり大相撲の中継はNHKが独占している。夜のダイジェストはテレビ朝日が放映していた。それ以外に時折トーナメント戦などもあったが、わがテレビ東京はかすりもしない。そこで、協会との関係をいくらかでも深めてイベントの放映権獲得の助にしたいという意図があった。

会場は千葉の「松尾ゴルフ倶楽部(現・ラフォーレ&松尾ゴルフ倶楽部)」だった。開場間もないバブリーなゴルフ場。池が多い。メンバーは二組で、当方が社長の杉野、スポーツ担当のわたし、スポーツ局長の武居、それにこの会をセットしてくれた平山の四人。相手方の協会からも四人の出場だったが、時津風理事長(もと

といわれた。期待されながらこ二番に弱く、ついに横綱昇進を果たせなかったところもわたしの好みに合っていた。

しかし、運命は彼を見捨てはしない。引退直後に師匠時津風(もと横綱双葉山)が死去し、後を継いだ立田川(もと横綱鏡里)から間もなく部屋を譲られ時津風を名乗り、若くして協会の理事、理事長を歴任する。理事長としては、二期四年在籍し、前任の境川理事長時代に混乱した年寄名跡改革問題など、角界の収拾で功績があったといわれている。

ラウンドを終えてVIPルームで会食し、歓談した。なごやかなひとときだった。当日のスコアは記憶にないが、圧倒的な協会側の勝利であった。みんな上機嫌で、お土産を手渡して別れたことは覚えている。お土産のなかにはわずかばかりのご祝儀が忍ばせてあった。数日後、理事長から手紙を添えてご祝儀が送り返されてきた。



豊山)と放駒理事(もと魁傑)以外のお二人が思い出せない。協会の四人はお上手だった。ラウンドのスコアも、九十前後のわたしが多分当方のトッププレイヤーだったから、あとは推して知るべし。なにより相手方はわれわれとは飛距離が違った。小春日和の抜けるような青空の下、理事長と理事、それに社長とわたしは軽口を叩きながら心地よくラウンドを終えた。

わたしの子どもの頃、スポーツといえば野球と卓球と相撲だった。いずれもたいした用具を必要としない。とくに相撲は砂や土のうえに棒で土俵を描けばすむ。われわれは、砂浜で、学校のグラウンドで、よく相撲をとったものだ。

小学生の頃は羽黒山のファンだった。中学生の頃は時津山のファンだった。そのあとはファンというほど相撲に熱中してはいなかったが、豊山に肩入れしていた。わたしが長い間暮らした新潟県出身で、大学卒で大関に昇進した最初の力士などという売り文句にいくらか乗せられていたのかもしれない。なにはともあれ、穏やかで荒々しい感じの少ないところがわたしの好み

に合っていた。得意技は、突っ張りとお手投げ。両まわしを引けば幕内最強「拝啓 今年も余日少なくなつてしまいました。先般贅沢なゴルフを楽しませて頂き深謝申し上げます。ハイヤーでの送迎、落着いた雰囲気の中で

の食事に加え、どうしたことか皆様の金子を総て頂戴する結果となり心苦しく思いました。築地の魚市場でアラを買求め力士と鍋を囲むには少々不足でしたが、可成り家計の足しになりました。お土産をいただいた参りましたが高額の包が入つておりましたことに気がきませんでした。お心遣いは有難く勿体なく思います。我儘を申し上げ失礼とは存じますがご返納させていただきます(ご寛容下さい。(後略)敬具」


人柄を表す社長宛の手紙はわたしが拝領し、長いことわが家の段ボールの中で眠っていたが、原本は数年前モンゴルでの植樹事業をとおして知り合った白馬関に献呈した。こんな立派な力士が日本にいたことを知つても

らいたかつたからである(写真はコピー)。  
勝男親方が定年退職で引退したあと部屋は弟弟子の双津竜が継いだ



ときつかせかつお  
**時津風 勝男**  
元・日本相撲協会理事長  
1937-

新潟県新発田市出身。東京農業大学を卒業後、角界へ。豊山の四股名で大関として活躍した。昭和の高度成長期を彩った人気力士のひとり。最盛期には大鵬とともに「鵬豊時代の到来」とも言われた。引退後は年寄・時津風を襲名、親方として関脇・蔵間や小結・双津竜などを育て上げ、1998年からは力士出身としては初の大卒理事長も務めた。



著者略歴  
うえむら ともね  
**植村 鞆音** エッセイスト

小説家・直木三十五の甥、東洋史学者・植村清二の子として愛媛県松山市に生まれる。1962年早稲田大学第一文学部史学科卒業後、東映を経てテレビ東京に勤務。同局常務取締役、(株)テレビ東京制作代表取締役社長等を歴任。2005年『直木三十五伝』で尾崎秀樹記念・大衆文学研究賞受賞、2007年『歴史の教師植村清二』で日本エッセイスト・クラブ賞受賞。主な著書に『夏の峠』『気骨の人 城山三郎』など。

5/3(木・祝)・5(土・祝)

EVENT

### 春日部の大凧あげ祭り

縦15m×横11m、重さ800kgの大凧がダイナミックに大空を舞う、100年以上続く伝統の祭り。江戸後期、養蚕の豊作占いとして凧を揚げたことが起源とされ、初節句を迎える子どもたちの健康と成長の願いを込めた大小の凧が、五月晴れの空を彩ります。



DATA

- 会場：江戸川河川敷  
(埼玉県春日部市西宝珠花)
- 料金：無料
- 問い合わせ：春日部市大凧あげ祭り実行委員会
- TEL：048-736-1111
- HP：www.city.kasukabe.lg.jp

4/18(水)・19(木)

EXHIBITION

### JP2018・ICTと印刷展

企画・デザインから印刷・加工、品質管理、環境関連まで、最新のシステムと技術を紹介する西日本最大の印刷関連機材の総合展示会。また印刷需要創出をテーマにした各種セミナーも同時開催されます。

DATA

- 会場：マイドームおおさか  
(大阪府中央区本町橋2-5)
- 入場料：無料
- 問い合わせ：大阪事務局
- TEL：06-6311-0281
- HP：jp-ten.jp

4/18(水)～21(土)

EXHIBITION

### 2018中部パック

包装・食品機械やシステムを中心に、食品材料、製造、物流、衛生・検査、包装、環境に関する最新機械・技術を幅広く紹介する総合展。また会期中は講演や各種セミナー・講演も数多く企画されています。

DATA

- 会場：ポートメッセなごや  
(愛知県名古屋市港区金城ふ頭2-2)
- 入場料：1,000円
- 問い合わせ：中部包装食品機械工業会  
2018中部パック事務局
- TEL：052-452-3161
- HP：www.chubupack.or.jp

5/3(木・祝)～6(日)

EVENT

### 航空科学博物館 折り紙飛行機教室

成田空港に隣接した航空科学博物館にて毎年開催される、GW恒例のワークショップ。よく飛ぶ紙飛行機づくりのコツを学んだのち、実際に飛ばすことができます。そのほかにマジックショーや和太鼓演奏会など、家族で楽しめる催しが目白押しです。



DATA

- 会場：航空科学博物館  
(千葉県山武郡芝山町岩山111-3)
- 入館料：大人 500円 中高生 300円  
子ども(4歳以上) 200円
- 問い合わせ：航空科学博物館
- TEL：0479-78-0557
- HP：www.aeromuseum.or.jp

5/3(木・祝)～5(土・祝)

EVENT

### 第24回 仁淀川紙のこいのぼり

いの町の特産「不織布」を色とりどりに彩色した「紙こいのぼり」約300匹が、清流・仁淀川を優雅に泳ぐ初夏の風物詩。最長7mのこいのぼりが100mにわたって泳ぐ姿は、川舟に乗って観覧することもできます。

DATA

- 会場：国道33号線沿い仁淀川橋下  
(高知県吾川郡いの町)
- 料金：無料 ※一部有料施設、イベントあり
- 問い合わせ：いの町産業経済課
- TEL：088-893-1115
- HP：www.town.ino.kochi.jp

～6/3(日)

EXHIBITION

### 木版画の美その2 ～独特の美しさと技法～

伝統的な多色摺りの浮世絵版画に新たな技法や表現を加えた近現代の作品を集めた展覧会です。また、4/30には浮世絵手摺りの実演会、5/20には写楽作品の「雲母摺り」を体験できるワークショップも開催されます。

DATA

- 会場：公益財団法人 紙の博物館  
(東京都北区王子1-1-3)
- 料金：大人300円 小中学生100円
- ※5/20(日)「体験・写楽を摺る」は費用2,000円が別途必要。
- 問い合わせ：公益財団法人 紙の博物館
- TEL：03-3916-2320
- HP：www.papermuseum.jp

※開館日、開館時間などは、各ホームページにてご確認ください。 ※イベント、展示は、諸事情により変更される場合があります。おでかけの際は、事前にホームページまたはお電話にてご確認ください。



輸送マイルージとCO2排出を抑え、地球温暖化に配慮したライスインキを使用しています。



針金・糊・熱が不要な製本方法を採用し、リサイクルや怪我の危険へ配慮しています。



国際紙パルプ商事株式会社  
KOKUSAI PULP&PAPER CO.,LTD.

発行：経営企画本部 経営企画部 CSR・広報課  
〒104-0044 東京都中央区明石町6番24号  
TEL (03) 3542-4111 (代)

URL <http://www.kppc.co.jp/>



作る

紙と触れ合い、モノを作る

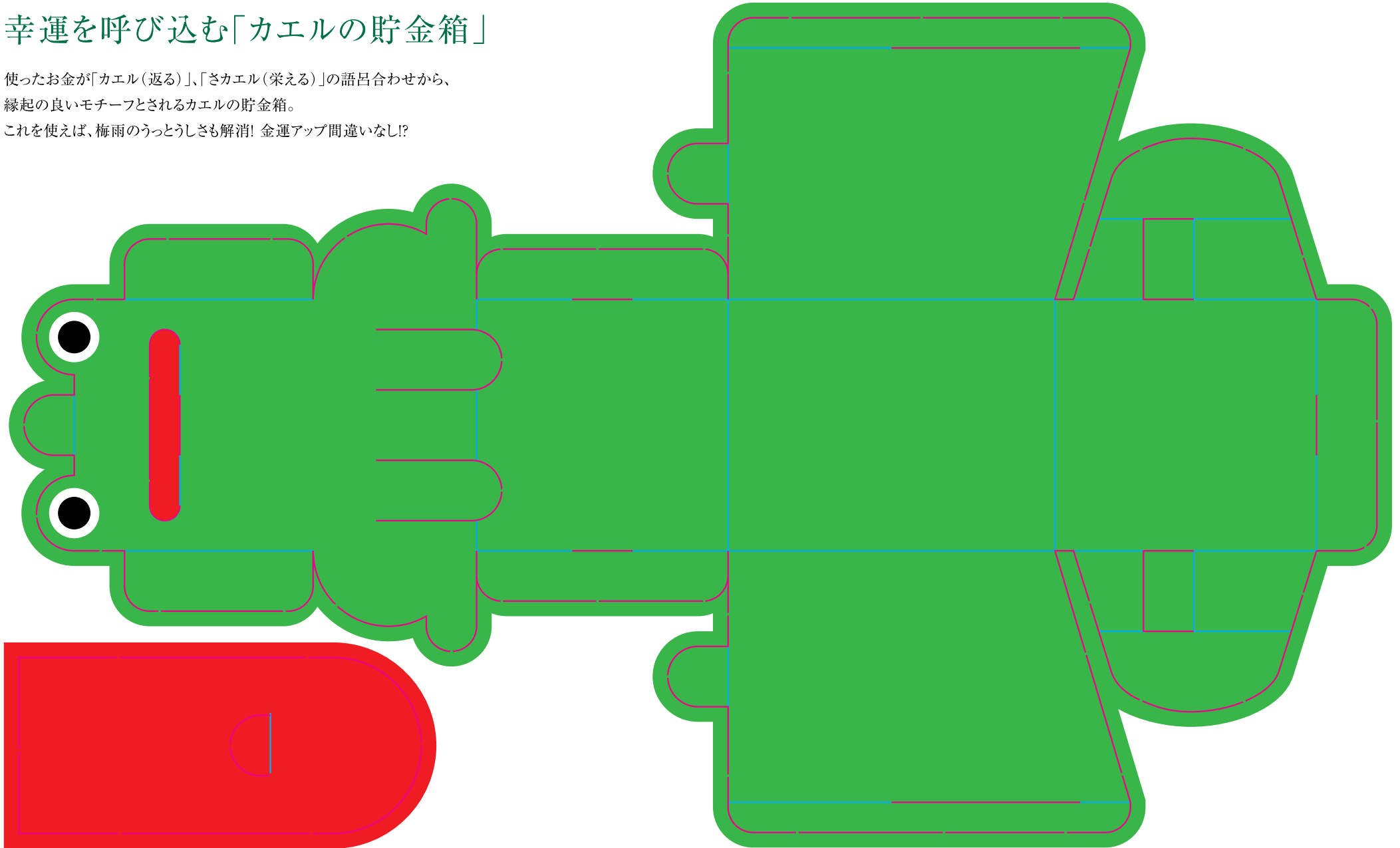
「PAPERCRAFT on the DESK」

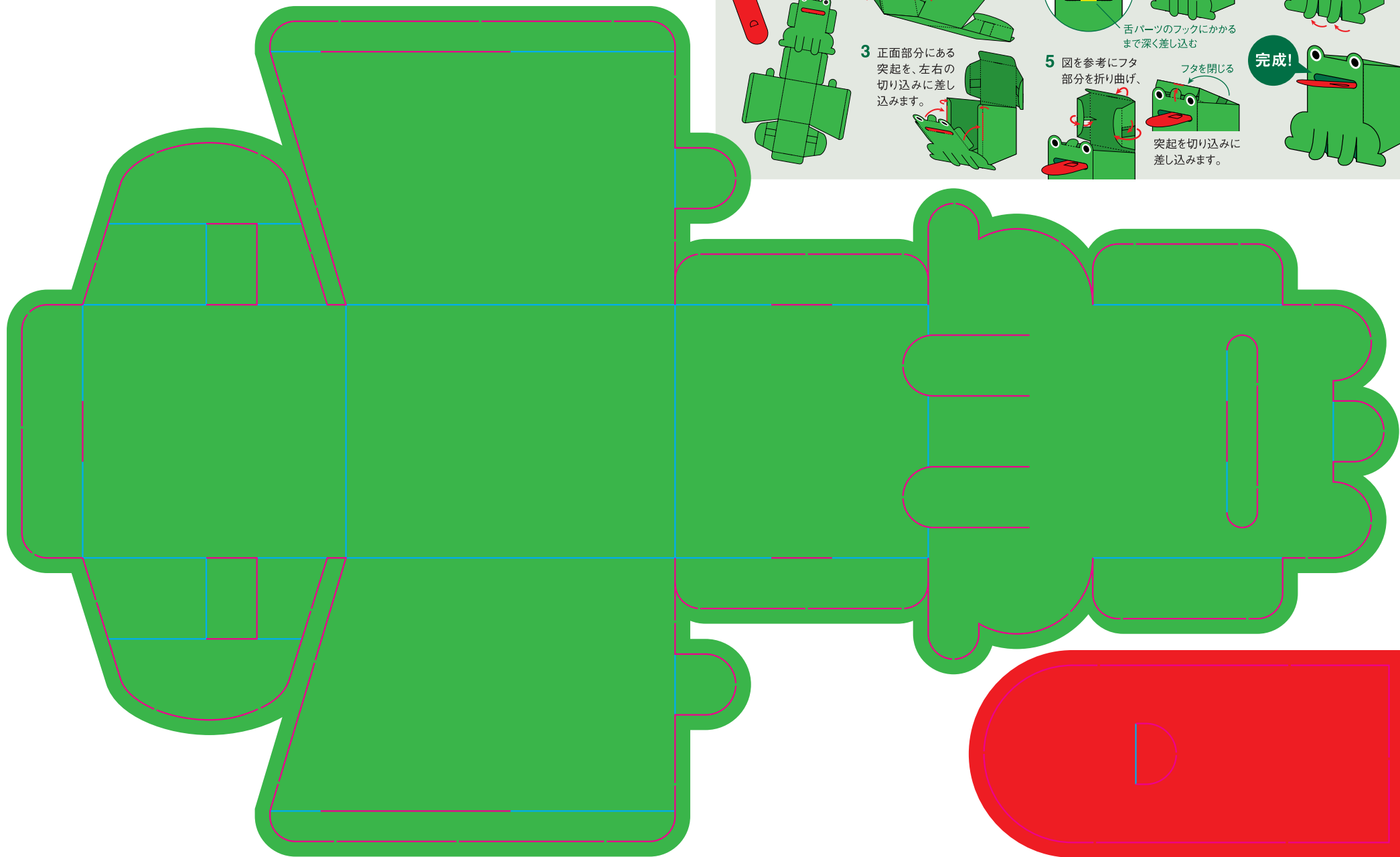
「作る」vol.35使用紙：オーロラコート(209.4g/m<sup>2</sup>/日本製紙株式会社)  
白色度と光沢度が高い次元で調和しており、優れた印刷再現性を備えています。

つくり方はウラ面をご参照ください。▶

## 幸運を呼び込む「カエルの貯金箱」

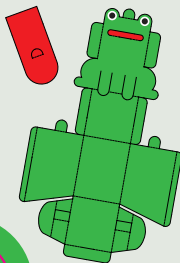
使ったお金が「カエル(返る)」、「さカエル(栄える)」の語呂合わせから、縁起の良いモチーフとされるカエルの貯金箱。  
これを使えば、梅雨のうっとうしさも解消! 金運アップ間違いなし!



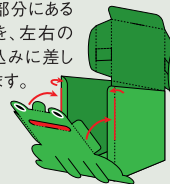


## 作り方

1 抜き型に沿って2つのパーツを切り取ります。



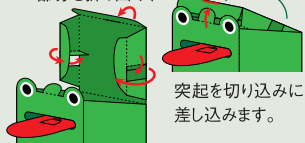
3 正面部分にある突起を、左右の切り込みに差し込みます。



2 底面にあたる面にある左右の切り込みに、突起を差し込みます。



5 図を参考にフタ部分を折り曲げ、突起を切り込みに差し込みます。



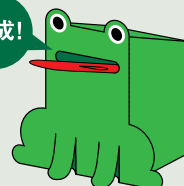
4 口部分を内側に折り、舌部分を差し込みます。



6 2本の前足を適度に折り曲げれば…



完成!



## ウラ面

舌パーツのフックにかかるまで深く差し込む

フタを閉じる

突起を切り込みに差し込みます。